

令和6年度科学研究費助成事業「学術変革領域研究（A）」に係る中間評価結果

領域番号	21A401	領域略称名	階層的生物ナビ学
研究領域名	サイバー・フィジカル空間を融合した階層的生物ナビゲーション		
領域代表者名 (所属等)	橋本 浩一 (東北大学・情報科学研究科・教授)		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の進展が認められる)

(評価結果の所見)

<p>本研究領域はサイバーとフィジカルを統合したシームレスCPSという方法論の確立と、群行動と個体ナビゲーションを統合した「階層的生物ナビゲーション」という概念枠組みによる生物行動の理解を目的としている。方法論については、生物行動に対してAI駆動型の手法を適切に導入した計測手法や解析手法を用いたインパクトの高い数多くの成果が上がっている。階層的生物ナビゲーション研究についても、コウモリの研究における個体と群の相互作用に関する知見等、期待以上の進展が見られる。また、研究領域としての活動は、若手研究者の育成、メディアなどを通じた社会発信、国際コンペティションの開催を通じた学術コミュニティでの発信等積極的、かつ効果的に進められている。公募研究を含めた研究領域内の新しい連携研究の推進や、研究領域内での様々な情報や技術の共有なども盛んに進められていることも高く評価できる。</p> <p>一方、現状では個体ナビゲーション、群行動の各階層に閉じた研究が多い点や、本研究領域の成果のヒト行動への応用に関しては更なる研究の進展が望まれる。</p> <p>今後、計画研究間の連携などによる階層ナビゲーションに関する更なる成果の蓄積と研究領域内での議論を通じて、生物行動に関する新たな視点や理論的な説明を提供できる「階層的生物ナビ学」という学術変革領域を確立することを期待する。</p>
--